

鹿児島地方本部第23回定期大会開催 議長団に、祁内代議員・中野代議員を選出



鹿児島地方本部は、8月10日(日)第23回定期大会を鹿児島市「ジェイドガーデン」において開催した。台風の影響で、宮崎地区の代議員を乗せた列車の遅れが発生し大会の成立が心配されたが、幸い大幅な遅延にはならず開催された。前原執行副委員長の開会挨拶後、大会議長に、宮崎乗務分会の祁内利美代議員と鹿児島地区連合分会の中野みき代議員を選出し、その後江口洋一地本執行委員長が、「6月に発生した指宿枕崎線列車脱線事故をはじめとする『安全最優先の風土づくり』、継承元年と位置付けた『組織の強化拡



大』、株式上場を目指す時期の『労働条件の維持・向上』、JR九州の経営基盤安定にむけての『政治的政策課題の実現』の4点について、地本執行委員会を代表し挨拶、その後、来賓の祝辞を受け、経過報告・運動方針(案)などについて12名の代議員・特別代議員から発言があり、各担当部からの答弁の後、延時書記長による集約答弁が行われ、満場一致で経過・運動方針等が承認された。今年は人事大会ではなかったが、転勤等に伴う執行委員の補充選挙を実施し、新役員に議長団を務めた、「中野みき」さんを選出した。



【主な大会発言骨子】
○若手組合員の育成と勉強会の開催を
○株式上場に向けた安全の取り組みと事業計画のチェックを
○原発事故時の社員の安全確保と避難誘導業務の在り方
○組合としてローカル線廃止反対の態度を明確に
○要員に対する考え

方、新入社員・若手社員の配属を
○指宿枕崎線の早期復旧を
○異常時に混乱のない指揮命令を
○組合費増額も含め、専従枠削減の検証を
○マイレール、増収活動の在り方と換算率の考え方は
○生理休暇が取得できる環境整備、モデル

職場を設けて取り組みを
○特急通勤の制度化と特例措置、代用証の使用区間等の拡大を
○分科会の廃止を含めた議論を
○マスキュナルへの対応マニュアルを
○貸金支給率の改善、巡回旅費の増額を
○貸金に応じた増収活動と目標設定を
○職場オルグと分会育成・指導を

【来賓紹介】
榮留道夫連合鹿児島会長代行、野間健衆議院議員、青木寛民民主党連代表、北森孝男社民党連代表、福司山宣介県議会議員、東幸也労金県本部長、渡辺慶二郎交運共済主幹、上村親始良市議、
【中央本部】
芦原秀己執行副委員長

編集後記
今回、教宣担当となりました青木です。組合活動が見える紙面づくりに頑張っています。よろしくお願いいたしますので、よろしく願います。